

筑波大学

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターでは、障害学生への学修支援として、ピア・チューター制度や学生宿舎の入居配慮に係る調整等、様々な側面からサポートを行っております。

障害学生の就職においては、法定雇用率の引き上げに伴って企業を中心に関心が高まっており、優秀な人材が揃っている筑波大学の学生は多くの雇用主から歓迎されています。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターとしては、皆さんが障害という枠に縛られることなく個人の能力を存分に発揮できるキャリアが築けるよう、就職活動を全力でサポートいたします。

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長



ダイバーシティ	アクセシビリティ	キャリアサポート
<ul style="list-style-type: none"> LGBT等に 関する相談、 男女共同参画 等 	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある学生 の学修支援 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア支援・ 就職等

DACセンターでは、障害学生対象のキャリア・就職支援企画も開催しています。社会人として活躍しているOBOG等を招いてお話を聴く就職支援講座や、気軽な雰囲気の中で参加者との話し合いを通じて自己理解を深めるキャリア座談会などのイベントを行い、障害学生のキャリアを考えるお手伝いをしています。さらに、障害学生の就職支援に関わる学外リソースへの情報発信等も行っております。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）を中心に、各教育組織、事務組織等と連携をしながら障害のある学生への学修支援を行っています。障害学生のキャリア支援・就職支援（インターンシップの支援を含む）については、DACセンターが学生部就職課と連携しつつ行っています。



卒業生の進路：

他にも多数の企業や自治体に就職しています！

企業

株式会社NTTデータ
 キヤノン株式会社
 株式会社総合車両製作所
 soam.ICT株式会社
 株式会社サントリー
 株式会社ジェーシーピー
 株式会社筑波銀行
 株式会社産業経済新聞社

株式会社リロケーション・ジャパン
 株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル
 富士通フ・アイ・ピー株式会社
 ソフトバンク株式会社
 ヤマト運輸株式会社
 株式会社VOYAGE GROUP
 株式会社システムインテグレータ
 新潟原動機株式会社

公務員等

茨城県つくば特別支援学校
 国立大学法人筑波技術大学
 岡山県教員
 慶應義塾大学研究員
 会計検査院
 横浜市役所
 東京消防庁
 国立研究開発法人産業技術総合研究所

企業からのメッセージ

トランスコスモス株式会社

学生のうちに自己分析、特に障がい者採用で企業に入社することを考えている場合は、ご自身の障がい状況について物理的にできること、できないことを伝えられるようにしておくのが重要だと思います。社会人になると自由な時間が少なくなります。入社した後でもできることはもちろんありますが、学生のうちにしかできないことをたくさん経験してください。

Bloomberg L.P. Global Data

どんな仕事にも共通していえるのは、協業することだと思います。結果、一番身に着ける必要があるものは、この人と一緒に働きたいと思われるための「人間力」だと思います。人間力の習得に正解はありませんが、色々なことにチャレンジし、成功と失敗の経験をできるだけ多く経験するのは役に立つ気がします。逆に明確なスキルでいうと、何を身に着けるべきかはやりたいことによって全く変わってきます。まず、やりたいことを明確にすることを重要視することで、自然と必要な知識や資格も見えてくると思います。

日本アイ・ビー・エム株式会社

インターネットで簡単に情報が手に入る時代だからこそ、実際にやってみる、行ってみる、会ってみる、話してみる、失敗してみるといったリアルな経験をたくさんしておいて欲しいです。また、多様性のある友人を持つこと、本をたくさん読むことによって、新たな視点や考えを知り、自身の経験値を上げることが出来ます。いつも同じ仲間、よく知った場所に居続けるのではなく、失敗をしても、恥をかいても、どんどんいろいろなことに挑戦してください。

問い合わせ：

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

【アクセシビリティ担当】TEL: 029-853-4584 E-mail: shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp
 【キャリアサポート担当・就職課】TEL: 029-853-6091 E-mail: syushokuka@un.tsukuba.ac.jp
 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
 スチューデントプラザ（第一エリア1D棟）2階
 開室時間：月～金 8:30～12:15 / 13:15～17:15 FAX: 029-853-2257

キャリア支援ガイド

～これから進路を考えるみなさんへ～

卒業生からのメッセージ

01

2017年卒業
Kさん (聴覚障害)
 (人間総合科学研究科障害科学専攻)

【トランスコスモス株式会社】

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

新卒・中途障がい者採用のバックオフィス業務です。主な内容としては、面接関連、結果処理、説明会関連など幅広い業務を対応しています。また、新卒の内定者関連では、SNSやメールによるフォロー、内定者イベントや内定式の企画運営を担当しています。

Q2. 現在の職場環境について教えてください。(受けている配慮等)

聴覚障がいがあるため、音声情報を補うための情報保障を活用しています。業務上打ち合わせが多いので、リアルタイムで会話しやすい手話通訳を利用することが多いです。また、1対1で会話するときや定例の会議時は音声認識ツール（UDトーク）を用いることもあります。こういった環境があるからこそ、情報保障の整備に注力する必要がなく、自分の力で本来の業務に専念できていると感じます。

Q3. 筑波大学の後輩へメッセージをお願いします。

「自分の言葉で、自分で考え、自分で決める。」ありきたりな言葉かもしれませんが、これらを愚直に、地道にやってきたからこそ今の私があります。筑波大学での経験が、皆さんの今後の糧につながっていくことを祈っています！

02

2015年卒業
Aさん (視覚障害)
 (教育研究科特別支援教育専攻)

【特別支援学校教諭】

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

私は特別支援学校の教員をしており、主に視覚障害のある子供たちを教えています。専門教科は英語で、仕事の内容としては授業はもちろん、行事の準備や実施、保護者や関係機関との連絡・調整、教員内での係の仕事、事務的な書類作成など様々です。県内外問わず、引率や会議等での出張も多いです。

Q2. 就職前と働き始めてからの実体験との間にギャップを感じたことがありますか？

就職前は、授業準備の時間がもう少し多いと思っていましたが、現実はかなり少ないところに驚きました。就職前から、「教員は授業以外の仕事が多い」と聞いてはいましたが、想像以上でした。学生時代の教育相談の準備の時間は、かなり貴重だったのだと実感しました。実際は、次々に授業があるので、その子どもにとって何が大事で、何を省略してもよいのか、核となるものをしっかり考えて、授業するようにしています。

Q3. 筑波大学の後輩へメッセージをお願いします。

したいことがあれば、ぜひ挑戦してください。学生のうちに、多くの経験を積んでほしいです。できれば、友人を作ってください。私は多くの失敗をして、劣等感を感じて、いやだなと思うことがあります。そのような時にこれらはものすごい支えになってくれます。充実した大学生活を過ごしてください。

03

2018年卒業
Iさん (発達障害)
 (生命環境科学研究科地球科学専攻)

【シスメット株式会社】

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

配信・印刷された天気図を壁に貼ること、他の社員に気象学の知識をわかりやすく伝えること、コンピューターのシステム開発（波を計算させるプログラムの改良）、気象要素の統計解析（降雪量と気温・湿度の関係など）です。気象学・数学・コンピューター操作の知識が必要な業務です。

Q2. 就職後役に立ったと感じる学生時代の経験や出来事がありますか？

1つ目は、困難があっても自分で解決する習慣を身につけたことです。社会人になれば、困ったことがあっても自力で解決する力が必要だからです。2つ目は（学業と直接関係しないことですが）、1人で旅行に出かけたことです。なぜなら、出張（講習会）に行くときは、初めての場所に自力で、しかも開始時刻に遅れないように行く必要があるからです。

Q3. 筑波大学の後輩へメッセージをお願いします。

人生は1種類のこと（例えば勉強）だけで過ごすのではなく、いろいろなことに取り組んでください。遊びも勉強の1つです。例えば1人で旅行に行くこと、泊まる場所を探す能力・地図を見る能力などが身に付きます。

04

2017年卒業
Hさん (運動・内部障害)
 (人間学群障害科学類)

【東京消防庁】

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

防災福祉係では高齢者や障害者の安全対策に携わっており、その方々の防災意識や防災行動力の向上のための広報活動や、防災訓練の方法の検討などを行っています。また、消防職員への教養の一環として、手話講座や車いすの乗せ方・押し方講座なども行っています。

Q2. どのように志望先を決定しましたか？

就職活動では人を支える仕事と、専門の社会福祉に携われる仕事という2つの軸を基準に志望先を絞っていきました。そのなかで、東京消防庁の就職説明会で消防士の体験エピソードを聴く機会があり、命を守ることを使命として働く人の情熱に触れ、この人たちと一緒に働きたいと強く思いました。

Q3. 筑波大学の後輩へメッセージをお願いします。

多様な学生、多様な生き方を受容する筑波大学という環境は、私に自信と可能性を与えてくれたと思っています。皆さんも、いろいろなことに積極的に関わる姿勢を持てば、きっと自然と可能性が広がっていくと思います。